

影絵

まご

さんたつ

馬男と山獺

くろこみちものがたり

- 黒河道物語 -

お話のあらすじ

紀州の国の北の端に大きなお寺があってな、お寺のお坊さんのためにふもとの村から黒河道を^{くろこみち}通^{とお}って、作物を^{さくもつ}運^{はこ}んどった。それを^{せうじのぼ}雑事登^{やくめ}り^{まか}ゆうんやけど、その役目を^{わかも}任^{せい}されたんがサブという若者^{のんき}やった。しかし、サブの香気^{せいかく}な性格は、いたずら好き^{えもの}の妖怪「さんたつ」にとって格好^{かっこう}の獲物^{えもの}やった。サブは無事^{ふじ}に^{せうじのぼ}雑事登^{やくめ}りの役目を果た^はすことができるのか…?



見所

私たちがこの影絵を作る上で一番こだわったポイントは、美しい日本画風背景です。色彩や構図は浮世絵で有名な歌川広重の作品を参考にしました。黒河道と関連のある魅力的なキャラクターと共に、黒河道の歴史がたくさん詰まった創作物語をどうぞお楽しみください。



～ 影絵上演 ～

日時 2018年3月24日(土)
午前11時(約20分)

場所 橋本市教育文化会館
5階 図書館 絵本コーナー

主催 橋本市図書館

大阪市デザイン教育研究所
デザイン 坂田成愛

